


開倫塾で「ハードな長時間自己学習」を行い、自分の力で人生の選択肢を多様化しよう

開倫塾

塾長 林明夫

1. (1) いよいよ 2017 年度の冬期講習、正月特訓、入試直前指導の期間に突入しました。開倫塾では、すべての受験生の第一希望校合格のために、開倫塾ができることはすべて行います。
(2) その第一として、先生方の勤務時間中は、「ハードな長時間自己学習」の塾生で、開倫塾のすべての校舎を埋め尽くすことを行っております。塾生の皆様は、先生の許可を得た上で、規則をよく守り、空いているスペースで「ハードな長時間自己学習」を実行し、第一希望校合格を果たしてください。
2. 「ハードな長時間自己学習」として、何をどのように行うか。
(1) 開倫塾で使用しているテキスト、問題集、まとめ教材、過去問をていねいにやり直す（復習を行う）こと。
(2) さらに、音読練習、書き取り練習、計算・問題練習などで「定着」を図ること。
(3) 過去問集を 5 年分、6 回やり直すこと。
3. (1) よくわからないことは、わからないところまで遡（さかのぼ）り学び直す「遡及（そきゅう）学習」を行うこと。
(2) 読解力を身に着けるために、新聞を読み、読書に励む。意味のわからないことばは「気持ちが悪い」と思い、辞書を引いて意味を調べ、語彙力を身に着けること。
(3) 行うべきことは山ほどあります。
4. (1) 開倫塾で行った「ハードな長時間自己学習」で、生まれて初めて本格的な勉強をした、集中的に行う勉強のコツをつかんだ、後々、そういえるくらい、熱心に机に向かってください。
(2) 開倫塾の塾生の皆様の大半は、高校卒業後、大学や大学院、専門学校などの高等教育機関に進学なさいます。社会に出て活躍なさいます。
(3) 学校での勉強や受験勉強、新聞・読書・辞書の活用は、上級学校での勉強や社会に出てすべて役に立ちます。主体的に学ぶ力が身につけばつくほど、選択肢が増加し、「多様な選択肢のある人生を歩む」ことが可能になります。
5. (1) 開倫塾の塾生である間に、「ハードな長時間自己学習」を行うことで、皆様の人生の選択肢を多様化していただきたく、よろしくお願いいたします。
(2) 自分の未来は自分で切り開く。「ハードな長時間自己学習」は不可能を可能にする。
(3) 「ハードな長時間自己学習」ということばも、この際にしっかり覚えて、これからの学校生活や人生において御活用ください。必ず皆様のお役に立ちますよ。
がんばってください。